



株式会社ベネフィット・ワン

第15期 第2四半期のご報告

2009年4月1日 ~ 2009年9月30日

より効率的な経営に向けて
組織改編を実施。
新たな方向性を目指す
事業もスタート。

代表取締役社長 白石 徳生



Q 当期の事業環境に対する認識と、
各事業の注力テーマについて
お聞かせください。

景気後退局面をビジネスチャンスとして捉え、引き続き積極的な営業活動を展開しています。

この上半期は、景気後退による影響として、中小企業を主とする年度初めの退会と、大手企業からの値下げ要請が発生しました。しかしながら、当社の提供サービスは本来コスト削減効果を打ち出すもので、費用圧縮ニーズによる公務マーケットや

大手企業からの引き合いは、増加傾向にあります。

当社が最も急激に会員数を拡大したのは、1998年の景気後退時でした。以来10年が経過しましたが、市場全体の福利厚生アウトソーシングの導入率は、東証一部上場企業でまだ3割程度に過ぎません。こうした中で迎えた今回の景気後退局面は、今のところ出足は鈍いものの、当社にとっては大きなビジネスチャンスであるという認識のもと、積極的な営業活動を続けております。

4つの事業の柱について、それぞれの注力テーマを述べます

と、まず第1の柱である福利厚生事業では、引き続き広告収入型の無料マッチングサイトとの圧倒的な差別化を追求してまいります。第2・第3の柱であるCRM事業とインセンティブ事業については今後、金額規模の大きな案件に集中し、より効率的な事業展開を打ち出していきます。そして第4の柱であるヘルスケア事業は、公務マーケットでの導入は順調に進んでいるものの、民間企業では導入が遅れており、その本格的な拡大に向けて準備を進めております。また今後は、メタボ健診以外の法定外健康支援サービスへの展開も強化していきます。

上半期の連結業績は、売上高・営業利益ともに前年同期を下回りましたが、経費削減効果等により当初予想を上回る利益を上げており、通期業績においては増収増益を見込んでいます。

※ 業績の詳細についてはp7以降をご参照願います。

下半期の取り組みとしては、4事業部門ともに、来期の新規案件拡大に向けた受注活動、特に大型案件獲得への注力がテーマとなってきます。

Q 当上半期の業績と下半期以降の取り組みについてお聞かせください。

売上高・営業利益ともに前年同期を下回りましたが、通期業績においては増収増益を見込んでいます。

福利厚生会員とCRM会員を合わせた総会員数は、9月末現在で410万人となり、前期末から40万人増加しました。当

Q 下半期から開始した新規事業についてご説明願います。

新たな展開として、出張精算業務のアウトソーシングと個人向け生活サポートサービスの提供を始めました。

12月より、新たに出張精算業務のアウトソーシングビジネスを開始しました。具体的には、交通機関各社とのオンライン接続によるチケットレスをベースとした**出張精算システム** Close Up!を構築し、当社で業務代行するというものです。顧客企業にとつ

Close Up!

出張精算システム

～出張精算業務をアウトソーシング～

システム概念図



Benefit one

- ・コスト削減
- ・集中購買
- ・不正防止
- ・事務効率化
- ・一括精算

サービス特徴

- 特徴1.** 出張手配、経費精算などトータルの効率化をサポート
- 特徴2.** 企業契約のお得な料金で、交通費コストダウン
- 特徴3.** 集中購買、一括精算で小口払い（仮払い）の軽減で事務効率化
- 特徴4.** 一括請求、可視化による不正防止

ては、集中購買や一括精算による事務作業の負担軽減や不正防止がメリットとなります。

もう一つ、新しい方向性の取り組みとして、ソフトバンクBB株式会社との共同事業による「BBライフ」があります。これは、ソフトバンクBBが運営するブロードバンドサービス「Yahoo! BB」の会員向けに、法人課金ではなく個人課金モデルとして、生活サポートをコンセプトとした特典を提供するものです。

「BBライフ」に加入した「Yahoo! BB」ユーザーは、当社が提供する「グルメ」「レジャー&エンターテインメント」「スポーツ」などのライフサポートサービスや宿泊サービスを、月額使用料525円で利用できます。当事業をモデルケースに当社は個人向け分野への展開を本格化していきます。

※「BBライフ」の詳細についてはp5をご参照願います。

Q 子会社2社の吸収合併を含む 大幅な組織改編が行われましたが、 これについてご説明願います。

4事業をドメインとして確立した事業部制に移行し、 より効率的な経営を行っていきます。

現在の組織を、4つの事業の柱をドメインとして確立した7事業部門体制に再構築することで、より効率的な経営を行っていくこととしました。その一環として、CRM事業を展開してきた株式会社ベネフィットワン・パートナーズと、健康支援サービスを展開してきた株式会社グローバルヘルスケアを7月に吸収合併しました。子会社2社の解消により、来期から単体

決算に移行する予定です。

期待される効果としては、4事業ドメインの明確化と組織整理・統一による経営資源の集中効果、単体化による管理コストの軽減などが挙げられます。

Q 株主の皆様への メッセージをお願いします。

当期末の配当は増配を予定。今後も業績拡大とともに 配当性向をさらに高めるべく努力してまいります。

当期の期末配当については、前期末の実績である1株当たり2,000円から増配し、1株当たり2,300円（連結配当性向33.4%）を実施させていただく計画です。今後も株主の皆様に対する安定的かつ継続的な利益還元を維持しつつ、業績拡大とともに配当性向をさらに高めるべく経営努力を続けてまいります。

当社の4つの事業領域はいずれも、はじめに申し上げた福利厚生アウトソーシングの導入率の低さに見られるように、まだまだ未開拓で成長余地が大きな市場です。その4事業領域において、トップシェアを維持し続けている当社の事業基盤は極めて堅牢であり、また、ストックビジネスとしての強みによって、持続的な成長力を確保しているものと自負しています。

株主の皆様におかれましては、当社事業へのご理解とともに、収益性および将来性にご期待いただき、引き続き長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ベネフィット・ステーション 直営施設

ベネフィット・ワンの直営施設は、
直営ならではの
きめ細やかなサービスで
皆様からご好評いただいております。
ご夫婦やご家族との
大切な時間にぜひご利用ください。



ベネフィット・ステーション
宝塚倶楽部



ベネフィット・ステーション
湯布院



ベネフィット・ステーション 斑尾高原



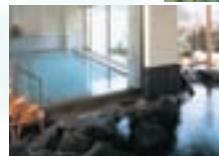
ベネフィット・ステーション
嵐山倶楽部



ベネフィット・ステーション
阿蘇

ベネフィット・ステーション
伊豆 南風楼 賢島

ベネフィット・ステーション
淡路島



ベネフィット・ステーション
箱根宮城野



ベネフィット・ステーション 御宿

ベネフィット・ステーション 葉山



共通インフォメーション

- 【予約受付期間】** 3ヶ月前～3日前
※3日前以降はご予約受付できない場合もございます。
- 【チェックイン/アウト】** 15:00 / 11:00
※宝塚倶楽部・嵐山倶楽部の場合は下記となります。
宿泊⇒16:00 / 10:00
昼休憩⇒11:00 / 15:00
夜休憩⇒17:00 / 22:00
- 【アメニティー】** ○タオル・バスタオル
○ドライヤー(一部施設、大浴場のみ)
○寝巻 ○歯磨きセット

- 【クレジットカード】** ご利用頂けます。
- 【キャンセル規定】** 3日前～前日⇒料金の20%
当日⇒料金の50%
当日(無連絡)⇒料金の100%
※団体の場合はキャンセル規定が異なります。
- 【ご注意】** 各施設では、空室確認、ご予約申込、ご予約キャンセルは受け付けておりませんのでご了承ください。

ご予約は
右記
連絡先まで

●ベネフィット・ステーション カスタマーセンター
0800-9192-919
(平日10:00～21:00 土日祝10:00～18:00)

●会員専用HP
<http://www.benefit-one.co.jp/>

●携帯HP
<http://bnft.jp>
QRコード



Topics & News



Yahoo! BB会員向けにお得な会員特典サービスを提供、生活サポートサービス「BBライフ」を開始

2009年10月1日より、ソフトバンクBB株式会社が提供するブロードバンド総合サービス「Yahoo! BB」とソフトバンクBBが提供するISP事業者との協業サービス「SoftBankブロードバンドサービス」の利用者を対象に、当社が提供する会員特典サービス「BBライフ」のサービスを開始いたしました。

サービスの加入者は、「グルメ」「レジャー & エンターテインメント」「スポーツ」など「ライフサポートサービス」と、国内・海外の宿泊施設を優待価格で利用できる「宿泊優待サービス」、合わせて14カテゴリー、110,000件以上の優待サービスなどを、有料でご利用いただくことができます。

これは、付帯サービスでありながら、従来の法人課金型ではなく、個人課金型の新しいビジネスモデルであり、今後は通信事業会社・不動産会社へ横展開を図っていく予定です。



グルメサービス

「爆割クーポンショップ 食べたいむ50/30」が堅調に拡大

昨年2008年9月に開始したグルメ版アウトレット・ステーション、「爆割クーポンショップ 食べたいむ50/30」が堅調に拡大しております。時間限定で「会計金額の3割引」や「フードの半額」といった他のグルメサイトにはないコンセプトが消費者に好評で、特にベネフィット・ステーション会員は、クーポンを無料でダウンロードし放題であるため、既存会員の満足度向上につながり、さらに新規営業においても競合他社にはないキラーコンテンツの位置付けとなってきています。

一方、提携店舗は全国2,000店舗を超える勢いであり、厳しい状況が続く外食産業では、「空いている時間であれば割引してでも集客をしたい」という声が多く、提携店舗増加の追い風になっています。

①まずはベネ・ステ
携帯HPにアクセス!



ベネ・ステQR
コードが便利です。
<http://bnft.jp>

②ログイン後、
「食べたいむ」をクリック!

※ベネ・ステ会員ならベネ・ステ経由のご登録で「クーポン取り放題コース」の利用料(315円/月)が無料でご利用いただけます。

※ドコモ、au、ソフトバンク公式サイト3キャリアに対応しています。
(一部対応していない機種がございます。)



ベネフィット・ステーション オリジナル企画が満載

当社は会員様同士の交流を深めていただくために、多数のオリジナル企画の交流イベントを企画・運営しており、その中でも好評なのが、「ベネ・ワン村」と「WORK・LIFE BALANCE FESTA+ECO 2009」です。

「ベネ・ワン村」は、埼玉県比企郡ときがわ町を第1拠点に2008年6月よりスタートし、今年で2年目を迎えました。参加者には田植えや稲刈り、木工・工芸体験など、地域性を活かした貴重な農業体験・自然体験を楽しんでいただいております。

また、「WORK・LIFE BALANCE FESTA+ECO 2009」では、セミナーや展示コーナーの他に、ステージイベントや企業対抗スポーツ大会など参加型企画も豊富に催され、3回目を迎える今年は11,000名の方にご来場いただき、大盛況に終えることができました。

今後も当社は、企業の社員とその家族の絆を深める様々なオリジナルの体験型企画を提供してまいります。



ヘルスケア事業部 「特定健康診査・特定保健指導」の市場拡大

2008年4月より開始した「特定健康診査・特定保健指導」が法令化して、今年で2年目を迎えました。

ヘルスケア事業部では防衛省、農林水産省、文部科学省など、中央官庁を主として、公務マーケットシェアを拡大しております。また、民間マーケットに対しては、試験的導入を中心に、福利厚生既存取引先からの受託が増加しております。

また、当社では、松山オペレーションセンター内に、健診予約から保健指導の一貫サービス体制をいち早く構築するなど、他社との差別化に取り組んでいます。

今後、ヘルスケア事業では、従来の法定内(メタボ健診)サービスに加え、ヘルスケア関連の物品販売や、インセンティブ事業と連携した健康維持ポイントプログラム等、法定外の健康支援サービスへと広く展開していくことで、新しいヘルスケアマーケットの創造を目指してまいります。

決算の
ポイント

- CRM 事業は順調な成長
- 福利厚生事業、インセンティブ事業は減収
- 利益は前年同期比減ながら当初計画を上回る

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、厳しい状況にあります。在庫調整の一巡や経済対策の効果等により、生産・輸出に加え、個人消費においても持ち直しの動きが見られるようになりました。このような経済状況の下、大企業、官公庁等は、従業員の価値観・ニーズに合致した幅広い福利厚生サービスを効率的に提供するため、福利厚生のアウトソーシングを推進しております。

その中において当社は、法人会員に対して提案営業を推進し、宿泊のみならず育児・介護等ワークライフ・バランスに配慮した福利厚生サービスメニューを拡大しております。また、

「特定健康診査・特定保健指導」等ヘルスケアサービスの拡充を図る一方で、「カスタマー・ロイヤリティー・プログラム(企業顧客満足度向上のための物販およびサービス)」の拡販にも注力し、個人および法人会員への重層的なサービス提供体制強化に努めております。

こうした取組みの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,758百万円(前年同四半期比9.6%減)、営業利益は710百万円(同10.7%減)、経常利益は714百万円(同10.4%減)、四半期純利益は472百万円(同6.0%増)となりました。

売上高	6,758 百万円
営業利益	710 百万円
経常利益	714 百万円
四半期純利益	472 百万円
総会員数	410 万人

総会員数の推移

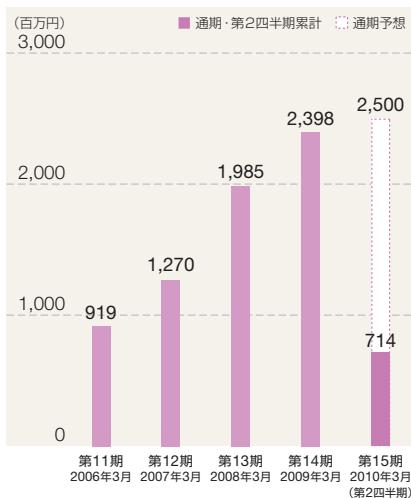


業績の推移

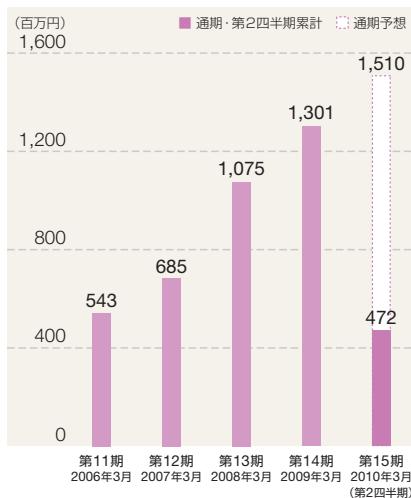
売上高



経常利益



四半期(当期)純利益



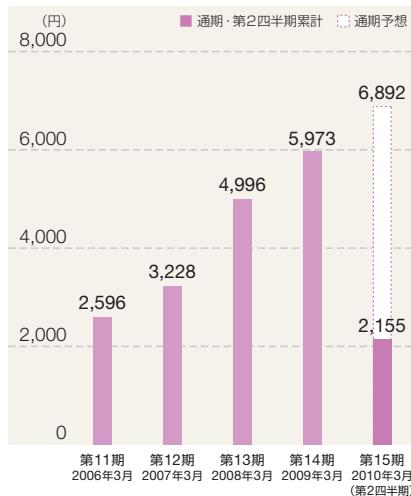
自己資本／自己資本比率



自己資本利益率(ROE)



1株当たり四半期(当期)純利益



(注)2006年4月1日付で普通株式1株につき4株の分割を行っております。上記数値は、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行っております。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末	前期末
	[2009年9月30日現在]	[2009年3月31日現在]
資産の部		
流動資産	5,148	6,992
固定資産	3,920	4,420
有形固定資産	1,696	1,760
無形固定資産	1,404	1,546
投資その他の資産	820	1,113
資産合計	9,068	11,412
負債の部		
流動負債	2,108	4,506
固定負債	77	72
負債合計	2,185	4,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,506	1,505
資本剰余金	1,446	1,445
利益剰余金	4,247	4,213
自己株式	△ 330	△ 330
株主資本合計	6,870	6,834
評価・換算差額等	12	△ 0
純資産合計	6,882	6,834
負債純資産合計	9,068	11,412

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
	[2009年4月1日から 2009年9月30日まで]	[2008年4月1日から 2008年9月30日まで]
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 934	317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 54	△ 732
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 443	△ 312
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,432	△ 727
現金及び現金同等物の期首残高	3,823	3,774
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,390	3,046

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
	[2009年4月1日から 2009年9月30日まで]	[2008年4月1日から 2008年9月30日まで]
売上高	6,758	7,479
売上原価	4,106	4,741
売上総利益	2,652	2,738
販売費及び一般管理費	1,942	1,942
営業利益	710	795
営業外収益	6	9
営業外費用	2	7
経常利益	714	797
特別利益	3	0
特別損失	2	28
税金等調整前四半期純利益	715	768
法人税、住民税及び事業税	208	353
法人税等調整額	35	△ 29
少数株主損失(△)	-	△ 0
四半期純利益	472	445

IRに関する詳しい情報は

IR情報につきましては「投資家の皆様へ」にて情報発信を行っております。こちらも是非ご覧下さい。



ベネフィット・ワン 投資家の皆様へ

検索

会社概要 (2009年9月30日現在)

会社名	株式会社ベネフィット・ワン
設立	1996年3月15日
資本金	15億646万円
本社所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷三丁目12番18号 渋谷南東急ビル
従業員数	521名
支店所在地	大阪、札幌、仙台、宇都宮、横浜、浜松、名古屋、富山、 京都、広島、高松、松山、福岡、熊本
URL	http://www.benefit-one.co.jp/
役員	代表取締役社長 白石徳生 常務取締役 太田 努 (サービス部門長) 常務取締役 小山茂和 (コーポレート・センター部門長) 取締役 寺澤雄太 (営業部門長) 取締役 宮川洋一 (ヘルスケア・ファイナンス部門長) 取締役 南部靖之 (株式会社バンナグループ代表取締役 グループ代表 兼 社長、株式会社バンナ代表取締役) 取締役 上田宗央 (株式会社プロフェッショナルバンク代表取締役会長) 取締役 相原宏徳 常勤監査役 富山正一 常勤監査役 青木克彦 監査役 川崎悦道 監査役 鈴木康之 (弁護士)

株式情報 (2009年9月30日現在)

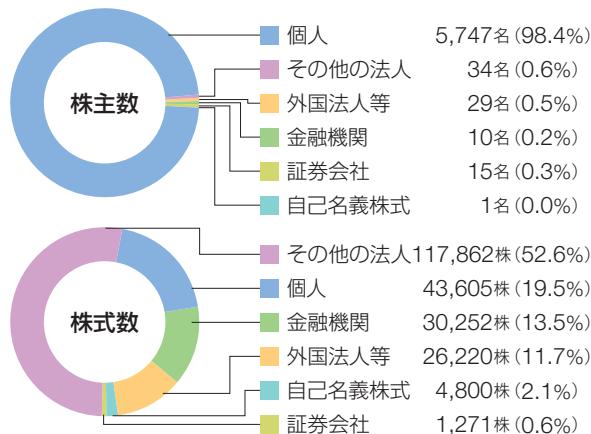
発行可能株式総数	700,000株
発行済株式の総数	224,010株
株主数	5,836名

大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社バンナグループ	114,582	52.27
日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	10,198	4.65
白石 徳生	8,860	4.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,403	3.38
ステート ストリートバンク アンドトラスト カンパニー	7,289	3.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,900	2.69
BNP パリバ セキュリティーズ サービス ロンドン / ジャステック/UK レジデンツ レンディング	4,517	2.06
ザ チェース マンハッタン バンク N.A. ロンドン エス エル オムニバス アカウント	4,238	1.93
メロンバンク エービーエヌ アムログローバル カストディ エヌブイ	2,445	1.12
ベネフィット・ワン社員持株会	2,093	0.95

※ 上記のほか、当社が保有している自己株式4,800株があります。
議決権比率は、自己株式を控除して算出しております。

株式分布状況



株主優待のご案内

毎期末の株主名簿に記録された株主の皆様、
当社商品の福利厚生サービス(宿泊施設、スポーツクラブ、育児、
介護、グルメ等の各種サービスが割引料金で利用可能)を提供いたします。

● 優待の内容

下記のとおり、提供コースは保有株式数に応じて異なります。
ゴールドコースBとは、スタンダードコースAのサービス内容をさらに優遇させたものです。

【保有株式数優待の内容】

1株以上～10株未満 「ベネフィット・ステーションスタンダードコースA」1名様分

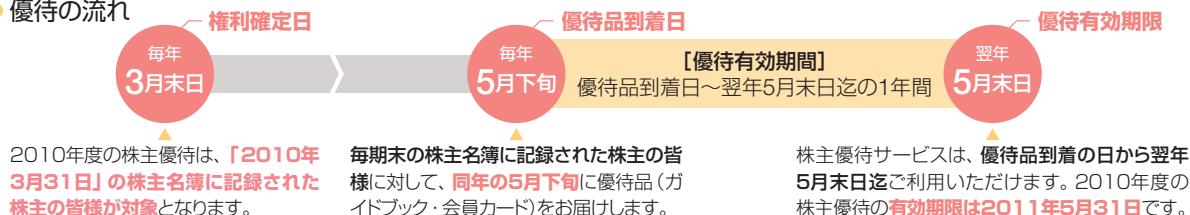
10株以上 「ベネフィット・ステーションゴールドコースB」1名様分

※ 会報誌は優待品に含まれません。会報誌の内容につきましては、会員専用ホームページ(<http://www.benefit-one.co.jp/>)をご参照ください。



※ 写真のガイドブックは2009年度のものです。

● 優待の流れ



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所(郵便物送付先)	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10号 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-176-417
(株式に関する住所変更等のお届出・ご照会および特別口座に関するお問合せ先)

(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告の方法 電子公告にて当社のホームページに掲載する。
<http://www.benefit-one.co.jp/>

ただし、やむをえない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所